


2. 地区別の緑の方針

(1) 旧三島地区

地区の概況と緑の課題

位置図	ア 地区の概況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旧東海道の宿場町から発展した市街地です。 ・ 楽寿園や三嶋大社など本市を代表する自然・歴史的資源が豊富です。 ・ 「街中がせせらぎ事業」による水辺景観等の整備が行われています。
イ 緑の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 菰池、白滝公園、楽寿園内の小浜池、源兵衛川の水の苑緑地、境川の清住緑地などの湧水池は湧水量の低下が見られていることから、地下水の保全対策が求められます。 ・ 楽寿園や三嶋大社など、本市を代表する自然・歴史的資源を有しており、これらの樹林や景観の保全が求められます。 ・ 「街中がせせらぎ事業」と連携した水辺の緑のネットワークづくりが求められます。 ・ 計画的な公園整備や、避難地の確保等による防災対策が求められます。 ・ 三島駅前(南口)広場に続く、商店街等の緑化推進や富士山への眺望点の確保などをふまえた市の「顔づくり」が求められます。 	

方針

本市の代表的な緑と水の資源である源兵衛川などの河川や楽寿園、三嶋大社を活かし、それらの魅力を更に際立たせることで、緑と水があふれた快適性の高い市街地環境づくりを進めます。

市の中心市街地であり、大規模な空閑地が少ないことから、小規模な空閑地の活用によるポケットパーク等の整備とともに、歩行者の快適性を確保した道路の整備や、沿道緑化などを進めます。

ア 地区コンセプト

“ 既存資源の活用と協働による緑と水あふれるアメニティ 空間づくり ”

イ 実現の方向

既存資源や「街中がせせらぎ事業」等の取り組みとの連携による緑と水、緑と道のクラスター軸の形成(市街地を流れる河川、旧東海道・(推定)平安鎌倉古道等の活用)観光客へのアメニティ向上

河川と道路の接点となる場所の魅力化(大場川、主要道路等の交点となる橋詰公園の整備検討)空閑地等の活用(沿道緑化、ポケットパークづくり、鉄道線路敷の活用、境川南部の空閑地の活用等)

街中がせせらぎ事業：p.1 参照

ポケットパーク：p.33 参照

アメニティ：「快適性」を意味し、ここでは水辺の公園や緑地をはじめ水遊びや散歩を楽しめるような要素を指します。

クラスター：p.15 参照

橋詰公園：p.22 参照

方針図

